

## 中六人部 A to Z

発行日 2021年 2月

制作 中六人部公民館  
中六人部地域づくり協議会  
中六再発見グループ

協力 (敬称略)  
塩見直紀 (福知山公立大学)  
加賀本 (北山) 由美  
つぎの里  
(株)エアロジャパン  
中六グラウンドゴルフ同好会  
中六人部地区福祉推進協議会  
高齢者複合福祉施設晴風  
THE610BASE  
官福寺  
大槻富子  
大槻眞智子  
洞楽寺  
京都丹の国農協広域営農経済センター  
中六人部小学校同窓会

発行 中六人部地域づくり協議会  
〒620-0836 京都府福知山市宇大内3118



## 発刊にあたって

「ミライト中六が応援しまっせ！！」事業の支援を受けて「中六再発見グループ」が企画しました。中六人部を訪れた方、興味を持った方、多くの方に気軽に読んでもらえるよう工夫しています。

狭いようで広い中六人部。あちらに山あり、こちらに川あり、こんな所に岩があるなんて、何気なく見ている山にこんな話があったなんて、住んでいても知らなかった。そんなこと、あんなこと、中六人部をもっと知ってほしいとの願いを込めてこの冊子を発刊します。

中六人部公民館長 大槻祐一

※中六（なかるく）は中六人部（なかもとべ）の略称です

## アクセス

京都府北部の中丹地方に位置する福知山市。その福知山市の中心より南東方向に中六人部があります。



## CONTENTS

A Amanzuku

A 天突

Bunkichiwa

B 文吉岩

Coffee Tsuginosato

C Coffee つぎの里

Droneport Fukuchiyama

D ドローンポート福知山

E-kanjinoiaka

E いい感じの田舎

Festival

F 中六フェスティバル

Ground golf

G グラウンドゴルフ

Harukaze

H 晴風

Ichigo house

I いちごハウス

Jizake Nakamutobe

J 地酒 中六人部

Kagamiishi

K 鏡石

Lakueizan Kanpukuji

L 楽永山官福寺

Matsutake

M 松茸

Nakaroku bus

N 中六バス

Ohchijoushi

O 大内城址

Pin pon pan pooon

P ピンポンパンポーン有線放送

Q Nakamutobeshougakkou

Q 旧中六人部小学校

River

R リバー

Sanmendaikokuten

S 三面大黒天

Tanojoushi

T 田野城址

U-gezan Tourakuji

U 遊源山洞楽寺

Vegetables & Forest products

V 野菜&林産物

Wednesday salon

W 水曜サロン

X???

X なまこ壁

Youdouyama

Y 庵戸山

Zyuurouno

Z 十郎野



大内連山の最高峰の天突（あまんづく／標高334.5m）に寛政11年（1799）行者堂が祀られました。毎年8月に祭礼が行われ、中六の大内、上六の堀越・坂室・正後寺・池田の人々がお参りをします。洞楽寺4世「鉄門金牛和尚」がこの天突で雨乞いを行い大雨を降らしたという話は今も語り継がれています。令和2年に祠が建て替えられました。

天突

中六の昔話といえば「文吉岩」。昔々、両親を亡くした文吉は笹場という村で村人にかわいがられて暮らしていました。ある時、村を大水が襲い村人は高台に避難しましたが、文吉は亡くなった両親の家と位牌を残しては行けないと、濁流にのまれ流されました。嵐の後、位牌の見つかった岩を「文吉岩」と呼ぶようになりました。残念ですが今

文吉岩

“古き良きものを次の世代に継いでいこう”という想いで、平成25年□田野にオープンしました。毎週日曜日のみ午前10時から午後4時まで飲み物だけのメニューで開いています。時々季節の特産物を利用した炊き込みご飯やおはぎ、ゆずやイチジクのジャムなどを販売しています。気軽に立ち寄ってちよっと一服。ステキなスタッフが迎えてくれます!!

Coffee 喫茶店

A

B

C



大内山田にドローンを製作したり、操作の講習を実施したりする場所があります。大小様々な用途のドローンがならんでいます。講習は、初心者からインストラクター取得まで指導が受けられます。農業から防災、鳥獣害防止など様々な利用価値を求めて研究を進めています。

## ドローンポート福知山

D

中六は田舎です。家の周りには田畑が広がり、山と川に囲まれています。ですが車で5～10分も走れば、たいていの物が手に入る大型スーパーがありますし、そのすぐ先には舞鶴若狭自動車道福知山IC。京都・大阪方面へも舞鶴・宮津方面へ行くにもとっても便利で、買い物や海水浴、スキーなども近場で楽しめます。

## いい感じの田舎

E

中六フェスティバルは、地元の各種団体や事業所による出店、農産物品評会・即売会、素人作品展、演芸、更には大抽選会が開催される中六最大のイベントです。元々、旧中六農協が主催の「農業祭」が始まりで、一時中断。その後、地元団体が主体となり、「農民祭」として復活し、農協の合併を機に現在の形となった催し物です。

## 中六フェスティバル

F

高齢者の生きがい、健康増進を目的に63名の会員で同好会を発足させました。当初は旧小学校グラウンドを使用していましたが、現在は竹田川左岸広場を使用し、毎週木曜日を練習日に活動を続けています。同好会の大会以外にも公民館や福祉団体の大会にも協力し、グラウンドゴルフを通じ地域活動に貢献しています。

## グラウンドゴルフ

G

高齢者複合施設晴風は「地域と共に育む豊かな暮らし」を施設理念として、平成18年に開設されました。かたよらない心 こだわらない心 とらわれない心 を合言葉に施設長以下スタッフの皆さんが一丸となって利用者の満足度の向上を目指すとともに地域住民との交流にも努めていただき、地域にとってかけがえのない存在となっています。

## 晴風

H

旧中六小学校を利用したTHE610BASE（ムトベース）が開設されました。7連棟のいちごハウスを設置し、「育てることから食べていただくことまで責任をもって、誰もが笑顔になれる楽しい農業がしたい！」そんな想いで農業事業をスタートされました。人が集う楽しい施設です。

## いちごハウス

I





昭和40年に中六人部農協が広報活動、相互連絡、農業指導等を目的に有線放送電話事業を開始しました。3人の女性交換手が朝・昼・晩の放送と、地区内の電話取次をしていました。訃報放送では、思わず涙声になることや、「まだ繋がらんか」と責められることもあったとか。昭和50年に電話事業は終わりましたが、今も地区内放送網として活躍しています。

**ピンポンパンポーン 有線放送**

P

明治6年に鵬雲舎として開設されて以来144年の歴史ある旧中六小学校。自然に囲まれ、また地域の人たちとの絆も深く、子どもたちも仲良く学校生活を送りました。校庭には子どもたちを見守ってくれた「かしの木」があり、その下は勉強、体操、一輪車の練習の場となりました。枝を伸ばし日陰を作ってくれた「かしの木」は大切な地域のシンボルです。

**旧中六人部小学校**

Q

ここ中六は、由良川支流の土師川と兵庫県から流れる竹田川の合流地点に位置しています。20万年前、由良川は長田野辺りで南に向きをを変え、竹田川から加古川に合流し瀬戸内海に注いでいたと考えられています。子供のころよく捕まえたモト（カワムツ）やヤマムツも瀬戸内海側の淡水魚だったかもしれません。

**リバー**

R

庵戸山の中腹、竹田川に架かる庵戸橋の上に位置するこの石像は昭和15年に中地の西躰定一氏が寄進され、洞楽寺住職福山覚峯和尚により建立されました。三面の顔を持ち、宮・大内・田野方面を向いて、中六全体を永久に見守っていただいています。

**三面大黒天**

S

田野城は土師川支流の竹田川右岸にあった平城で、イノキ野城あるいは福岡城ともいいます。この地は竹田川を上流に向かうと兵庫県氷上郡域に至る交通の要衝で、イノキ野、宇野木野などと呼ばれました。「丹波志」によると城主は兎ノ木縫殿介で、黒井城主で「丹波の赤鬼」と恐れられた赤井（荻野）直正（悪右衛門）に討ち滅ぼされました。

**田野城址**

T

遊源山（ゆうげんざん）洞楽寺（とうらくじ）といえます。遊〔多くの人の心を楽ませる〕源〔みなもととなる〕地。洞〔心の奥深いところを見通し〕楽〔心身に苦痛がない安楽〕を願うお寺です。山門には 約200年前の鬼瓦が村を見守り、お参りの方や寺庭で遊ぶ子どもたちを未来永劫、見守り続けます。

**遊源山洞楽寺**

U

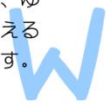


## 野菜&林産物

丹波くり、紫ずきん、京夏ずきん、万願寺甘とうなどの「京のブランド産品」が数多くの農家で生産されています。それぞれの作り手による「生産部会」があり、お互いに切磋琢磨しより高い品質の産品が消費者に届くよう努力が続けられています。



ミライト中六は、毎週水曜日に「水曜サロン」を開催し、地域の方々にご利用いただいています。コーヒー、手作りの催し等準備し、歓談いただき、またパン屋さん、移動図書館、魚屋さんにもサロンを盛り上げてもらっています。スタッフ一同、地域の皆さんに気軽にお越しいただき、ほっこり、ゆっくりしてもらえよう努めています。



のどかな田園風景の中、楠の大樹と並びX模様のなまこ壁の土蔵風の建物があります。第47代内閣総理大臣芦田均の生誕地に氏の功績を顕彰するために開館した福知山市芦田均記念館です。戦後まもなく日本国憲法の制定に携わり、また、総理大臣として戦後の復興に残した大きな足跡などを紹介しています。



## なまこ壁



中六の北にそびえる庵戸山（ようどやま）は、江戸時代の出石藩（現：豊岡市出石町）でのお家騒動（仙石騒動）の首謀者とされた仙石左京の弟、久富が庵（いおり）を結び隠棲したとされたことが名前の由来です。昔も今も変わらぬ姿で中六の人と暮らしを見守っている地区のシンボリックな山です。



## 庵戸山



田野地区の兵庫県に接する高台に位置します。かつては畑として桑、茶、麦、芋、葡萄等が作られていましたが、昭和37年～40年に開田されました。面積はイノキ野（田野城址付近）と合わせて18.5ha。当初は全面に稲が作られ壮大な景色でしたが、近年は耕作放棄地が増えており、今後の有効利用が待たれます。



## 十郎野

## 中六人部小学校歌

そびえたつようどの山に  
あけぼのの光仰げば  
よろこびは胸にあふるる  
ひらけ行く学びの窓に  
すこやけく生いたちゆかん  
ああ ああ  
中六人部小学校

清らなる竹田の川の  
せせらぎに耳をすませば  
朝夕に心ははずむ  
栄えゆく学びの園に  
たゆみなく伸びつつゆかん  
ああ ああ  
中六人部小学校

うるわしき我がふるさと  
豊かなる血を受けつげば  
かかげもつのもみは高し  
かぎりなき学びの道を  
ひとすじに手をとりのゆかん  
ああ ああ  
中六人部小学校

作詞 北山 巖  
作曲 中原郁男

## 中六人部地域づくり協議会

中六人部地域づくり協議会「ミライト中六」は、「持続可能な地域づくり」を目指して、令和2年4月にスタートしました。

「住みやすい、元気のある地域に」をコンセプトに、定住促進、生活基盤の確保、地域おこしの3つの軸による活動を展開していくこととし、次の取り組みなどを持続的に実践していく組織です。

- ◎施設の管理
- ◎毎週水曜日のサロン
- ◎地域防災活動
- ◎イベントの企画・運営
- ◎空き家情報の発信
- ◎地域活動に取り組む団体を支援する「応援しまっせ！」事業
- ◎地元で育てた酒米を使った地酒「中六人部」

このように、中六人部に住んでいる皆さんや、地元の各組織・団体の方たちが、経験や知識などを持ち寄って手をつなぎ、行政とも協働して、私たちが暮らしているこの故郷をもっと住みよい、活力ある豊かな地域へと盛り立てていこうというのが「中六人部地域づくり協議会」です。



### 表紙の写真

「みんなに愛される花畑」をテーマに、市立六人部中学校美術部の皆さんに、ミライト中六の事務所のシャッターに描いていただきました。